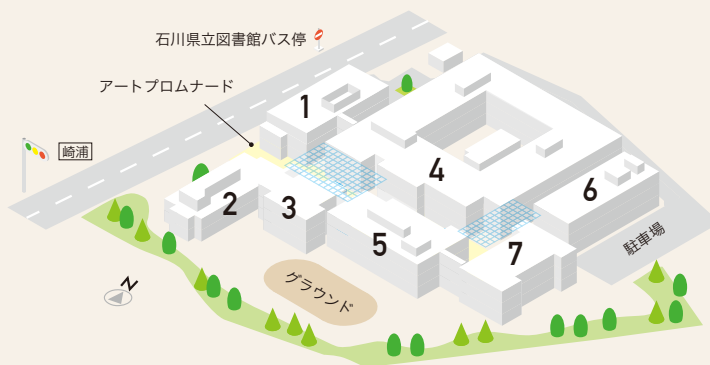







CAMPUS キャンパス

- 1 1号館 (管理棟)
- 2 2号館 (美術館・図書館)
- 3 3号館 (講義棟)
- 4 4号館
- 5 5号館
- 6 6号館
- 7 7号館 (体育館)



ACCESS 交通アクセス

-  電車 金沢駅下車
-  バス 金沢駅兼六園口 (東口) ターミナル6番のりば
 ①東部車庫行 ①金沢学院大学行
 ②湯涌温泉行 ②北陸大学薬学部行 ②北陸大学太陽が丘行
 ③上辰巳行 (乗車約20分) 金沢駅金沢港口 (西口) バスターミナル5番のりば
 ④東部車庫行 ④金沢学院大学行 (乗車約25分)
 いずれのバスも「崎浦・県立図書館口」で下車してください (徒歩約3分)
-  タクシー 金沢駅から約15分
-  車 北陸自動車道 金沢森本ICから約15分 金沢西ICから約25分
-  航空機 小松空港から バス/リムジンバス (乗車約40分)
 金沢駅下車 (乗り換え、兼六園・金沢港口から電車の場合に同じ)



Exhibition

新キャンパス移転記念

金沢美術工芸大学所蔵名品展



鴨居玲「Clown」1978年、リトグラフ 金沢美術工芸大学蔵

HC Roy Carrey

前期 2023年10月2日(月) ~ 12月1日(金)

主催：2023 ビエンナーレいしかわ秋の芸術祭実行委員会、石川県、
一般財団法人石川県芸術文化協会、金沢美術工芸大学 美術工芸研究所

開場時間 10:00 ~ 17:00 (土日祝日は閉室)

会場：金沢美術工芸大学 アートギャラリー

金沢市小立野2丁目40番1号 (2号館1階)

後期 12月18日(月) ~ 2024年3月1日(金)

—KANABIが生み出したアーティスト展—

主催：金沢美術工芸大学 美術工芸研究所

 金沢美術工芸大学
KANAZAWA COLLEGE OF ART

〒920-8656 金沢市小立野2丁目40番1号 TEL 076-262-3531 (代表) FAX 076-262-6594

金沢美術工芸大学 美術工芸研究所 アートギャラリー / 平成の百工比照 展示・閲覧コーナー (2号館1階)

TEL 076-262-3519 (直通)

www.kanazawa-bidai.ac.jp



2023 ビエンナーレいしかわ秋の芸術祭 いしかわ百万石文化祭2023 応援事業

後援：金沢市 北國新聞社

お問い合わせ先：金沢美術工芸大学 美術工芸研究所 076-262-3519



金沢美術工芸大学
KANAZAWA COLLEGE OF ART

ART GALLERY アートギャラリー

展覧会会期中 平日 10:00～17:00

※展示替え期間および年末年始は閉室

開催中の展覧会および会期については
本学ウェブサイトにてご確認ください
www.kanazawa-bidai.ac.jp

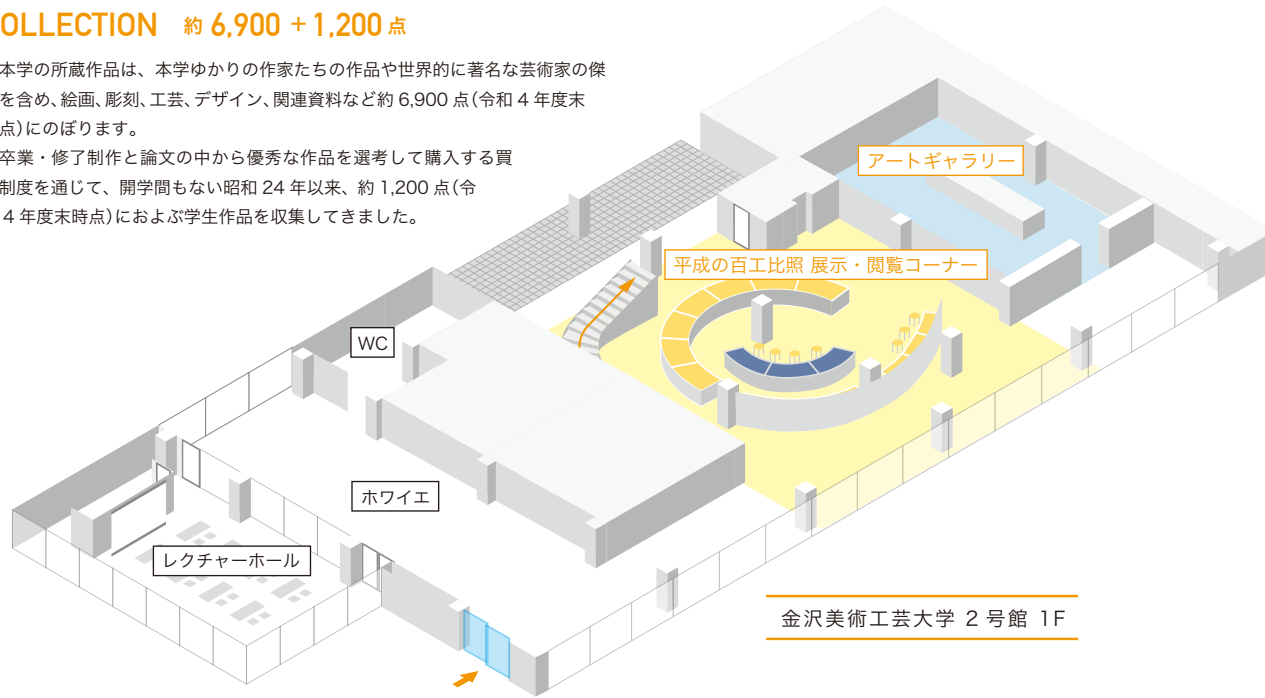


本学が所蔵する美術、工芸、デザインに関する作品、資料および学生買上作品を特別展や企画展を通じてさまざまな切り口でご紹介するための展示施設です。

COLLECTION 約 6,900 + 1,200 点

本学の所蔵作品は、本学ゆかりの作家たちの作品や世界的に著名な芸術家の傑作を含め、絵画、彫刻、工芸、デザイン、関連資料など約 6,900 点(令和 4 年度末時点)にのびります。

卒業・修了制作と論文の中から優秀な作品を選挙して購入する買上制度を通じて、開学間もない昭和 24 年以来、約 1,200 点(令和 4 年度末時点)におよぶ学生作品を収集してきました。



金沢美術工芸大学 2 号館 1F

主な所蔵作品 (順不同)

- 絵画 高光一也、宮本三郎、鴨居玲、藤森兼明、西山英雄、高屋肖哲 など
- 版画 フランシスコ・ゴヤ、アブラハム・ボス、釣谷幸輝 など
- 彫刻 アントワーン・ブルーデル、オーギュスト・ロダン、清水九兵衛 など
- 工芸 高村豊周、木村雨山、小松芳光、富本憲吉、中川衛、マイセン など
- 写真 アンセル・アダムス、イモーゲン・カニンハム、原直久 など
- デザイン 柳宗理、大智浩 など

北出コレクション 約 200 点におよぶ古九谷や国内外の陶磁器コレクション

水野家資料 加賀藩に白銀師として仕えた水野源六家まつわる金工資料

高屋肖哲資料 狩野芳崖の弟子である高屋肖哲の下絵や粉本などの資料

服部コレクション 羽咋市出身の服部敏治氏から寄贈されたマイセン磁器

益田祐作コレクション リトグラフ工房とギャラリー関連の作品や諸資料



平成の百工比照 展示・閲覧コーナー

平成の百工比照 展示・閲覧コーナー MUSEUM

開室時間 平日 10:00～17:00

工芸の技法、制作工程、材料にかかわる見本や道具類、完成した製品などが分野ごとに収蔵箱に納められており、棚から自由に取り出してご覧いただけます。加賀象嵌・蒔絵・九谷焼・加賀友禅の制作工程を高精細の 4K 画質で撮影した工芸技術記録映像のご視聴や、国立民族学博物館との連携協定にもとづき制作された「平成の百工比照コレクションデータベース」での資料検索も可能です。

COLLECTION 約 6,200 点

「平成の百工比照」とは、江戸時代に加賀藩が収集した工芸標本「百工比照」(重要文化財)に抛り、現代版の「百工比照」をつくる一大事業です。

平成 21 年度から本学が金沢市と共同で着手した本事業では、工芸の制作や理論を専門とする本学教員が全国の産地を訪ね、約 6,200 点(令和 4 年度末時点)におよぶ資料を収集してきました。



陶磁 (2,400 点 / 令和 4 年度末時点)

各種釉薬の色見本、九谷焼描画彩色技法見本
大堀相馬焼(福島)、丹波焼(兵庫)、萩焼(山口)、
高取焼(福岡)、壺屋焼(沖縄)ほか
各産地の製品見本



漆工 (1,200 点 / 令和 4 年度末時点)

津軽塗(青森)、会津塗(福島)、輪島塗・山中漆器(石川)、
香川漆器(香川)、琉球漆器(沖縄)ほか
技法・工程見本、粉見本、道具見本
津軽塗(青森)から琉球漆器(沖縄)に至るまで
各産地の製品見本



金工 (1,800 点 / 令和 4 年度末時点)

重ね象嵌、柰目金、真土型等各種工程見本、各種髹見本
銅合金着色、セラミック電着塗装ほか各種着色見本
南部鉄器(岩手)、燕三条(新潟)、高岡銅器(富山)ほか
各産地の製品見本



染織 (800 点 / 令和 4 年度末時点)

津軽こぎん(青森)、ぜんまい白鳥織(秋田)、
能登上布・手描友禅(石川)、琉球びんがた(沖縄)ほか
全国 40 以上の産地の製品見本や工程見本
伊勢型紙(三重)見本、天然染料標本 55 種類

photo: Mitsu Tsutomu